

本部暴力集団の動労千葉を闘争貫徹しよう！



日刊 動労千葉

79.4.15

No.全国版Q

国鉄動力車労働組合
千葉地方本部

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電二五八〇九・公衆電話(22)七二〇七)

4・11、12連日暴行を繰り返す！

全国の動労組合員の皆さん！ 動労内一部暴力集団の実態は動労千葉のこの間の闘いによって、次々と暴露されています。四月十一日、千葉県労連の指令により、代々木公園における総評青年協主催「国民春闘・統一自治体選挙勝利全国青年労働者総決起集会」に参加すべく結集した動労千葉青年部員に対する集団テロ・リンチ。四月十二日、五百名あまりの集団をもつて成田、新小岩、勝浦、館山において、ボール、竹竿をもって窓ガラスをタタキ割り突入を図るという乱行。これらは動労千葉全組合員の「これが労働組合か！」という怒りの声となつて、一四〇〇名の団結をさらに打ち固める要素となっています。動労千葉全組合員は第三三回臨大―結成大会における確認を、さらに全組合員ひとりひとりの決断として、本部・暴力集団のみならず権力、当局、他労組一体となつて組織破壊・切り崩し策動を粉碎するものとして、再度の「団結署名」をもって組織の強化を目指し、木更津、館山両支部でほぼ一〇〇%の署名を勝ちとったのははじめ、団結署名の完遂へ向けて全支部で努力が続けられています。

全労働者・人民に知れ渡る「闘う動労千葉」

八〇年代の激動を労働運動の右傾化を阻止し労働者の側への展望を切拓く戦闘的再生を目指す闘いとして、①、労農連帯・三里塚ジェット闘争貫徹。②、「水本運動」へのセクト的引きまわし拒否。③、「貨物安定宣言」を廃し、一〇万人合理化、ローカル線切り捨て合理化に真に対抗できる反合闘争の構築。④、暴力とセクト的動労引きまわしを許さず真に階級的組合民主主義を確立する、という第三二回地本臨大方針によって、労働運動本来の「路線」闘いの基本方針をめぐる闘い」として止揚してきたわれわれの闘いは、いまや、労働運動の内外に多くの支援と連帯を勝ちとっています。

動労本部・暴力集団が、いかに「分裂組合」「労働組合として認められない」とわめこうが、総評の闘う青年労働者は動労千葉青年部が「4・11総評青年協集会」に参加することを認め、歓迎し、千葉県労連青年協に結集する国労、全通、全電通、全金その他の青年労働者は「動労千葉青年部に対する敵対に断固反対し、動労千葉青年部を守る」という確認をしているのです。

これが労働組合のやることか！

「4・11総評青年協集会」に動労千葉青年部が参加し、歓呼の声をもって迎えられることが必至となったため、「動労千葉はどこからも相手にされない」「行きつく先は武装集団による少数派組合だ」というデマ宣伝の虚構が暴露されることを恐れた暴力集団は、ヤクツ的思惑をむき出しにして、錦糸町駅ホームで、列車から降りた動労千葉

青年部員を四百名の部隊をもってとりかこみ、公衆の面前で、権力に見守られながら暴行のかぎりを尽したのです。

4・12各支部における乱暴・狼藉の限りを尽した庁舎や掲示板に対する破壊行為も、最初から竹竿やボールまでも用意し、職場を破壊することのみを目的として来たことが歴然としているのです。自らの意に沿わないものに対しては、手段を選ばぬこのような非道をあえてする、これが労働運動と言えるでしょうか。

これが動労千葉を排除し、破壊しようとする暴力集団の本当の姿なのです。

本部・本社の折衝の席で「本部・本社の仕切った労働条件に従わない組合員はクビにしろ」と当局に要求する中央執行委員が現に存在しているのです。

正しい労働運動を求めて54年度新採が圧倒的に結集！

54年度新採	71名
配属総数	
動労千葉	57名 (80.3%)
国労	13 (18.3%)
未定	1 4月/3日現在

現在進行している五四年度の新組合員獲得に当たっても、他労組からの誹謗・中傷に對し、自らの信ずる道を正々堂々と明らかにし、誠意をもった討論を通し、昨年来上回る動力車職場配属の新組合員を獲得しています。

このように多くの討論と、正しいと信じた闘いをいかなる弾圧にも屈せず誠実に闘い抜くという労働運動のあるべき姿を追求しているわれわれの闘いは、除々に、そして爆発的に、多くの支持と理解を集めて前進しています。

全国の動労組合員みなさん、ともに闘いましょう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！